

“ 80 歳以上の患者に対する腹部大動脈瘤手術成績の比較 ” に関する情報公開

1 . 研究の対象

1998 年 5 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの期間に、当院において腹部大動脈-腸骨動脈瘤に対して手術治療（外科的人工血管置換術，ステントグラフト内挿術）を受けられた 80 歳以上の方

2 . 研究目的・方法・研究期間

研究目的：腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術（EVAR）は外科的人工血管置換術（OSR）と比べて低侵襲な治療として広く受け入れられています。つまり EVAR はよりリスクの高い、あるいは虚弱な方にとって有効な方法であると言えます。しかし高齢の方全員が虚弱であるわけではなく、EVAR を単純に高齢な方に行うことが有効であるかどうか明確な証拠はありません。

そこで今回われわれは、当院で腹部大動脈-腸骨動脈瘤に対して手術治療（OSR、EVAR）を受けられた 80 歳以上の方の治療成績を比較検討いたします。

研究方法：腹部大動脈-腸骨動脈瘤に対して手術治療（OSR、EVAR）を受けられた患者さんのうち 80 歳以上の方が対象となります。手術前後の診療内容（血液検査や検査画像などを含みます）をデータとして使用させていただきます。そうして集まったデータを解析し、2 つの治療法の成績を比較します。

研究期間：実施承認日～2021 年 12 月 31 日

3 . 研究に用いる試料・情報の種類

本調査におきましては、対象となる患者さんの、術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過などを診療録、検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。

4 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし学会発表や論文出版の後ではデータを除去できないこともあり得ることをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科血管外科学 坂野 比呂志（研究責任者）

郵送先住所：〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科
血管外科学

電話 052-744-2224 , FAX 052-744-2226